整 理 番 号　　2025M-011
補 助 事 業 名　　2025年度　ロボット産業・技術振興に関する調査研究等　補助事業
補助事業者名　　一般社団法人 日本機械工業連合会

１　補助事業の概要

（１）事業の目的

「ロボット大賞」表彰事業は、２００６年度より経済産業省と当会の共催により実施してきたが、２０１６年度の第７回ロボット大賞表彰からは、新たに共催者として総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が加わり、より充実したものとなった。表彰位は、経済産業大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、中小企業庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞である。

本事業は①優秀事例を表彰することによりロボット関係者にモチベーションを与える、②ベストプラクティスの紹介によりロボット技術の普及を図る、③ロボットの社会実装による新社会システムの実現、④ロボットの実用化促進、研究開発の高度化、人材育成を啓蒙することを介して、社会課題の解決や国際競争力の強化を促し、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが活用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目的としている。

（２）実施内容及び成果

「ロボット大賞」表彰は２００９年度から隔年開催としており、非表彰年度である２０２５年度は、ロボット大賞審査特別委員会の下部組織である審査・運営委員会において、２０２６年度「第１２回ロボット大賞」の検討及びロボット産業・技術に係る最新の社会・産業動向等の調査・分析を行った。その成果を「調査研究報告書」としてまとめ、ロボット関係者に公表した。

①　２０２６年度「第１２回ロボット大賞」実施に向けた改善

審査・運営委員会を開催し、「第１２回ロボット大賞」に向けた改善検討を行った。

⑴ 「生活の質の向上」に向けた効果を把握して本事業へ生かすために、定量的効果データの導入を検討。

⑵ 審査方法の改善検討。

⑶ 運営改善のため実施要項、審査要領、募集要項等を改訂。

		
第1回審査・運営委員会	第2回審査・運営委員会	第3回審査・運営委員会

② ロボット大賞広報

(1) 未来モノづくり国際EXPO2025に「第１１回ロボット大賞」受賞ロボットを展示し、表業の広報を行った。

(2) 2025国際ロボット展にて「第１１回ロボット大賞」のパネル展示を行い、「第１１回ロボット大賞」ガイドブック3,000部、「第１２回ロボット大賞」募集リーフレット3,000部を配布した。

(3) 共催する省庁、協力団体、協力施設他に、「第１２回ロボット大賞」募集ポスター200部、募集リーフレット25,000部を配布した。

(4) NHK総合で放送される科学技術エンターテイメント番組「魔改造の夜」の大型公式イベント「魔改造の夜　THE MUSEUM」（２０２５年８月２５日～９月２日開催：弊会後援）のイベント会場にて「第１２回ロボット大賞」リーフレットを配布し、これまでより幅広いユーザ層に広報を実施した。

	
(1)未来モノづくり国際EXPO2025	(2)2025国際ロボット展



(4) 魔改造の夜　THE MUSEUM

③ 受賞ロボットのアンケート調査

「第１１回ロボット大賞」の受賞者に受賞の効果等をアンケート調査した。

全受賞者15企業･団体から返答があり、「ロボット大賞」受賞による効果･反響があったとの回答があった。具体的な効果としては、販売･導入･契約数の増加、広告効果（知名度、ブランド力、信頼性向上）、研究の発展･加速などが挙げられている。

④ 外部専門講師および外部機関の訪問によるロボット市場動向の把握

(1) 中国のロボット業界の実情、市場動向に明るいコンサルタントを講師に迎え、現在の中国のロボット業界におけるトレンドやその分析､今後の課題について、情報収集と意見交換を行った。

(2) 多くのロボット関係者が集う2025国際ロボット展の視察を行い、ロボット大賞の過去受賞者ブースを訪問、現在の開発状況等を調査。併せてロボット市場の動向とロボット等の開発者との意見交換を行った。



(1)中国人型ロボット動向 講演会



(2)2025国際ロボット展 視察

⑤　最新のロボット市場動向・技術動向についての調査研究

調査研究の成果を「調査研究報告書」としてまとめ、日本機械工業連合会HPに掲載した。報告書の構成は、ロボット関係者ニーズに応えるものとして以下の章立てとした。

第1章では本調査研究事業の背景と目的を明確にした。

第2章では、ロボット産業の国内外の市場動向の他、ものづくり分野、サービス分野、高度ICT分野、介護･医療健康分野、インフラ･災害対応分野、農林水産･食品分野などの市場と技術動向を調査した。

第3章では、AIの進展(フィジカルAI、AI法など)、デジタルツインや、ヒューマノイドロボットの動向について調査した。

第4章では､ロボット人材の育成と地域導入に向けた取り組みについて調査した。

第5章では、「ロボット大賞」表彰事業の概要(目的・募集対象・実績)、および受賞者アンケート等をまとめた。

第6章では、ロボット大賞審査・運営委員会での検討内容を踏まえて、次回「第１２回ロボット大賞」に向けての見直し案と提言を行った。

２　補助事業に係る成果物

（１）　補助事業により作成したもの

①　第１１回ロボット大賞　ガイドブック（３，０００部）

(https://robotaward.jp/wp-content/uploads/2025/11/RA_GB_11th_2025_02_1114.pdf)



第１１回ロボット大賞　ガイドブック

② 第１２回ロボット大賞　募集ポスター（２００部）
(https://robotaward.jp/wp-content/uploads/2025/11/RA_11th_A1_poster_2025_03_1113.pdf)



第12回ロボット大賞　募集ポスター

③ 第１２回ロボット大賞　募集リーフレット（３０，０００部）
(https://robotaward.jp/wp-content/uploads/2025/11/RA_11th_leaflet_2025_05_1114.pdf)



募集リーフレット（表）



募集リーフレット（裏）

④ 2025年度ロボット産業・技術振興に関する調査研究報告書（ＨＰ掲載）
(https://www.jmf.or.jp/houkokusho/houkokusho-3376/)

		
調査研究報告書（表紙）	調査研究報告書（目次1）	調査研究報告書（目次2）

（２） （１）以外で当事業において作成したもの

・日機連　週報(https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2026/02/syu3541.pdf)

	
日機連 週報（表紙）	日機連 週報（ロボット大賞募集開始頁）

３　予想される事業実施効果

⑴「調査研究報告書」をHP掲載して公表することにより、ロボットおよびロボットシステムの研究･開発･製造･利用に関わる企業、大学、研究機関などにむけて、ロボットの世界市場の動向､我が国のロボット市場の概況､および開発動向等の最新情報を提供した。これによりベストプラクティスの紹介を介した技術の普及､ロボットの社会実装の促進、研究開発の高度化、人材育成等の啓蒙を行う。併せて、本報告書を通じて「ロボット大賞」表彰事業の認知度向上に役立てる。

⑵２０２６年度実施の第１２回ロボット大賞表彰事業の成功に向けて､「第12回ロボット大賞」募集の広報活動、「調査研究報告書」におけるロボット大賞の取組み紹介、ロボット評価における定量的効果データの導入など､継続的な改善の取組みを行うことにより効果的・効率的な表彰事業運営に役立てる。

４　事業内容についての問い合わせ先

団 体 名:　一般社団法人　日本機械工業連合会　（ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ）
住　　所：　〒169-0075
東京都新宿区高田馬場一丁目３１番１８号　高田馬場センタービル１２階
E-mail：　mashiko.ryutaro@jmf.or.jp
ＵＲＬ：　https://www.jmf.or.jp/